

棚田百選にも選ばれている「福島棚田の里」の側に、ちょっとした1m半から2m程の小さなボルダーが3個程ある。夏季は時々草刈りが入るとはいえ、夏草が茂るので、一応鎌持参の必要があるが、下地は安定しており安心してトライできる。小さな岩なので、課題はLSやSDで限定するラインが殆どであるが、明るく、さらに雨後の乾きは早く、アプローチも近いので、近隣のボルダーにとって利用価値は高いと言える。

岩質は安山岩(溶結凝灰岩?)及び角礫凝灰岩でしっかりしておりフリクションもよく効く。

アクセスは、飯山市瑞穂地区の福島集落を目指して行くが、「棚田の里」を目標にして行けば迷うことはない。

アプローチについては、北のボルダーへは、溜池上の駐車場に置き、北側の車道を少し下ると、今は荒れてしまった右の田んぼの土手にある。真ん中ボルダーへは、同じく溜池上に駐車し、棚田の中を通る石畳の道を少し下ると、左の棚田の中に見える。南のボルダーへは、阿弥陀堂側の駐車場に置き、そこから荒地の中の踏跡をまっすぐ下ると直ぐである。

《課題紹介》

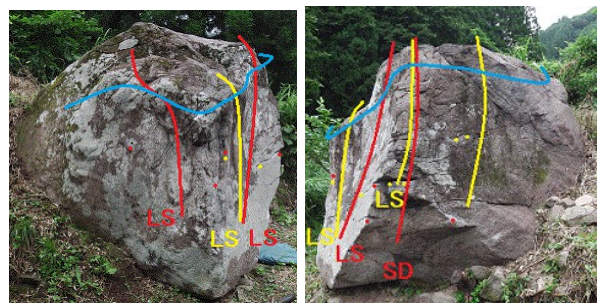
《F1:北のボルダー》

左:山側 右:林道側

夏草が茂り苔が出やすいので、ワイヤーブラシと鎌は必需品である。

限定ラインが多く分りにくいですが、フットワークの微妙な課題が面白い。

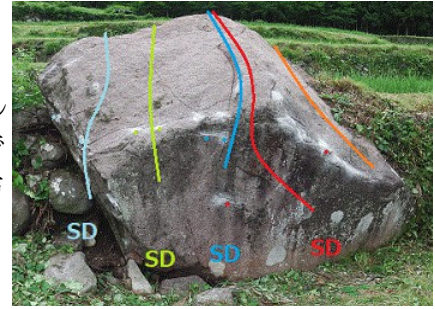
林道側のカンテのSD課題は課題名「棚田百選」。



《F2:真ん中のボルダー》

1.5mほどの本当に小さな岩だが、トライしてみると、そこそこ楽しい課題ができた。棚田の石垣の一部であり、ボルダーまでほんの少しだが畔を通るので、水田を荒らすような振る舞いは厳禁である。また、ボルダーの下がジメジメとしていることがあるので、防水の効くシートがあると良い。

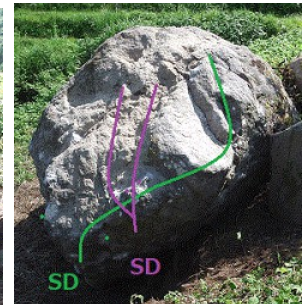
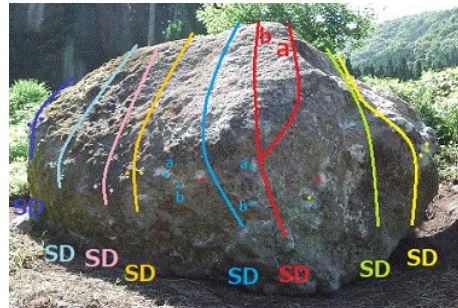
赤ラインは課題名「カマキリ」で、右足をリップ上にヒールフックしてからスタートする。



《F3:南のボルダー》

左:北西側 右:南側

春先に棚田の南側に汚そうな岩を発見した。荒れ地の中にあり、万仏岩と同じ角礫凝灰岩なので、ノブホールドが多く、易しすぎるような感じではあったが、ちょっと登るには近くていいかなと思ひ、野ばらと苔を剥がしてみると、意外と遊べるボルダーになった。



特に西面は見た目とは大違いで、いざトライしてみると、SDの設定課題の解決に数日かかってしまった。まあ、単に力がないということなのかもしれない。

赤ライン(課題名:ゴールデン・イーグル)の上部左ラインは、中間部から上部右のガバを使わないという限定あり。

青ライン(課題名:五月晴れ)は、左のガバホールドは使わない。左右aホールドからのスタートだったが、さらに下の左右bホールドからもスタートできる。グレード的には変わらない。

黄緑ライン(課題名:リーチください)は、スタートホールドが遠く、身長がないとリーチが伸び切っけたり、届かなかったりするので、チョンボになるが、クラッシュパッドの厚みの助けを借り、ほぼSDというスタイルで登った。スタート時に体を上げるのにちょっとコツがいる。

ピンクラインは、小さいがかりのいいホールドからスタート。身体を上げたら右足をオレンジラインのガバにヒールフックし、あとはホールドを拾って体を上げていく。

